



ホ Ab キーワード検索 🔍

ー 知 ベ ポ 組

ム ら シ ー 情


せ ト ト 報

レポート 2022.08.29

身近な“？ギモン”に注目するとキレイな海が見えてくる


アーカイブ ▼

- SDGs
- マイクロプラスチック
- マイクロプラスチック万華鏡
- 海と日本プロジェクト愛知
- 海と日本愛知
- 海と日本愛知2022
- 無料自由研究
- 自由研究




三河湾や伊勢湾などに囲まれた愛知県。海と野山と都市のバランスよい構成が特色です。養殖など沿岸漁業がさかんで、特にあさり類、くるまえばは全国でも有数の漁獲量を誇ります。

「海と日本プロジェクトin愛知県」ではこのような愛知の海の豊かさや多様性を伝えることで皆さんに興味を持ってもらい、海と共生するムーブメントを起こすことを目的に活動しています。




回すごとにキラキラ美しい、一度として同じ模様を見ることのない万華鏡・・小さな子どもにも大人気です。

Pick up



おやつ感覚で食...

身近な“？ギモン”に注目するとキレイな海が見えてくる | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホーム
- About
- お知らせ
- イベント
- レポート
- 番組情報
- 検索



この美しい模様を描く万華鏡、実は5ミリメートル以下のプラスチックである“マイクロプラスチック”を使っています。

■小さな子どもへは海への興味を持つ”きっかけ”を

例えば、身近にあるプラスチック製の“洗濯バサミ”。



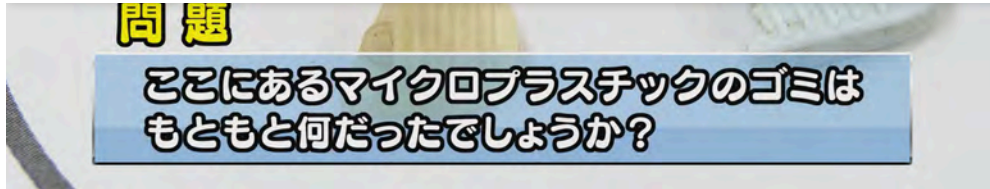
おすすめタグ

- [テレビ愛知](#)
- [海と日本](#)
- [ごみ拾い](#)
- [自由研究](#)
- [蒲郡市](#)
- [海と日本愛知](#)
- [海と日本愛知2022](#)
- [海と日本プロジェクト愛知](#)
- [海と日本プロジェクト](#)
- [SDGs](#)

身近な“？ギモン”に注目するとキレイな海が見えてくる | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホ
ー
ム
- About
- お
知
ら
せ
- イ
ベ
ン
ト
- レ
ポ
ー
ト
- 番
組
情
報
- 🔍



その軽さゆえ川や海の流れにより外洋まで流れていき、生態系への影響が懸念されています。

このマイクロプラスチックの万華鏡を使い、子どもたちへ海の環境への興味をもってもらおうと活動しているのは、名古屋市でオリジナル絵本の製造・販売する株式会社フォーチュンの本間祐希子さんです。



■本来の砂浜にはない色

この活動のきっかけは、日中の海に行ったときでした。

本間祐希子：



2026.04.03

世界初！複数の無人運航船を陸上から同時に支援 | 日本財団「MEGURI2040」が加速させる海運DXと社会実装の最前線

身近な“?ギモン”に注目するとキレイな海が見えてくる | 海と日本PROJECT in 愛知県

ホ
ー
ム

About

お
知
ら
せイ
ベ
ン
トレ
ポ
ー
ト番
組
情
報

この状況をどうにか形として伝えることができないか、自分たちにできることは何だろう?と思ったのが活動のきっかけだそうです。

■ マイクロプラスチックで表現する万華鏡の世界

本間：

「高学年の子どもであれば、自分で考え進んでいくことができますが、幼稚園児や小学校低学年生には何か楽しいきっかけが重要。その時に思いを形にする方法が万華鏡でした」

身近な“?ギモン”に注目するとキレイな海が見えてくる | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホ
ー
ム

About

お
知
ら
せ

イ
ベ
ン
ト

レ
ポ
ー
ト

番
組
情
報



万華鏡を作ることで、子どもたちに海の現状を知ってもらうことを目的としています。拾う、使う、学ぶというループの中で自分ができることを見つけ、思いを形にすることで環境問題に取り組む人の輪を広げています。

■身近にできることでOK

ほかにも海に行った際に子どもと一緒に気軽にできる海へのアクションを本間さんに伺いました。

準備するものは、スコップ・バケツ・ザルなどのふるい。



身近な“?ギモン”に注目するとキレイな海が見えてくる | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホーム

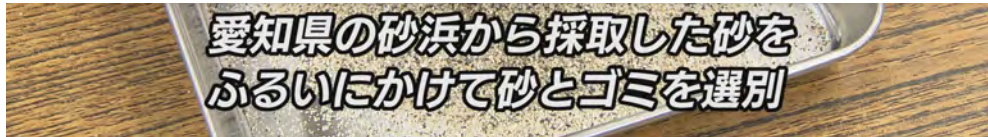
About

お知らせ

イベント

レポート

番組情報



砂をスコップですくい、ふるいにかけてみると、さまざまな種類のプラスチックゴミが確認できるそうです。



1つつこれが一体何か確認したり想像してみるだけでも自分ができる海へのアクションです。

今後はビーチクリーンのイベントを今年度中に愛知県で開催したいという本間さん。

本間：

「人間が作ってしまったカラフルな色は、海洋生物はもちろん、私たちにも危険な存在となっています。砂浜からカラフルを奪い去りたい。それが私たちの願いです」

関連リンク



レポート [2026.02.09](#)

おやつ感覚で食べられる”炙りさんま 甘露煮
仕立て”まもなく発売！



レポート [2026.02.06](#)

【海ノ民話アニメーション】南知多町・日間
賀島につたわる「たこあみだ地蔵」完成！小
学校で上映会